ひ
15

宇都宮系圖

相馬系圖
奥州相馬系圖
佐竹系圖
佐竹支族系圖

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15

ガラス使用

宇都宮系図　百五十三ノ内
相馬系図　續百四十五
又
眞列相馬系図　百十九ノ内
佐竹系図
又
佐竹支族系図

正宗寺本
支流系図附

續百十九ノ内

東京圖書館
類 ひ
屬 函
架 3
号 15
冊 1

系譜部
第十二
函有

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

No 6541

宇都宮系圖

東京圖書館藏

家紋左巴　賴朝卿之時右陣小山左陣宇都宮也故以左巴為紋

兼家法興院關白　道綱正二位大納言

兼經正三位參議左中將　顯綱讃岐守正四位左中將

宗圓石山座主

人王七十代後冷泉院御宇天喜元年詔八幡

温故堂文庫

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号　ひ-15

ガラス使用

太郎義家征伐安倍貞任宗任義家承詔發向
奥州猶為調伏于貞任宗任使石山寺座主宗
圓遣下野國宇都宮勤于祈禱於是遂討平之
功成座主上洛之日賞願成就之功被補下野
國守護職耳御祈之李尊座像之不動也在宇
都宮田氣郷故當家累代信仰于此不動者也

宗綱 座主三郎八田下総守灘口八田権守
實宗 圓男也祖父顯綱為養子
八月廿日卒

女子 小山四郎政光妻朝光母

朝綱 三郎兵衛
五衛門尉
日光山別當

女子 小山田別當有重室重成母

朝家 小田始
筑後守

女子 氏家五郎兵衛室

業綱 次郎兵衛尉早世 二月廿四日死

先父二月廿四日死

朝業 塩谷四郎兵衛尉 親朝 周防守 泰朝 新兵衛

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号　ひ-15
ガラス使用

玄快 光堂法師 親時 幸賀 五郎

時朝 笠間長門守 景朝 太郎左衛門

盛朝 三郎兵衛 長朝 三郎兵衛

朝宗 周防権守 貞朝 驚高四郎

朝氏 時景 憲四郎

泰景 小田五郎左衛門尉景 憲四郎

佐泰 次郎 民部大輔 貞朝 周防権守

朝世 次郎 家綱 幸千代丸

快朝 光堂法印

頼綱 西山入道彌三郎掃部助 母新院蔵人長盛女

正元元年十一月十三日卒八十八歳

泰綱 修理亮下野守弥四郎 時政女 母北條時

法名順蓮 弘長元年十一月一日卒五十八歳

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15

ガラス使用

女子 大納言為家卿室

女子 三條坊門内大臣通成公室

女子 三條太政大臣實房公室

時綱 義作守 上條三郎 母小山田次郎重時女
實治元年於鎌倉法華堂自害

賴業 上三川越中守 横田四郎
法名蓮阿 母梶原景時女

業義

時業 松野竹松
出羽守

泰業 長門守

貞朝 安藝守

泰朝 安藝守 出雲イ
實武茂時實男

師朝

良深 池上院主

元朝 高尾神坊

綱業

宗朝 西上條 多劫五郎石見守
母同上

朝継

朝經

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

朝定 朝行 児山三郎左衛門尉
實三浦義行男依為外孫養
以継家

景宗 宗秀 宗冬

景鏗 下野前司四郎左衛門尉 代々作者
法名蓮瑜
永仁六年五月一日卒六十四歳

盛綱 五郎左衛門尉 上總介 入道

女子 小山五郎判官時長妻

泰宗 武茂三河守常陸介
五郎左衛門尉

時景 六郎

景泰 西方遠江守 美濃守
於京都烏丸殿也 宗泰 伊与國
宇都宮

朝幹 高神院主 尾イ

師綱 舎兄泰朝養子

泰朝 為上三河負朝子

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

景泰 大山田右京亮 氏朝 義濃守

泰景 八郎 於上三河討死

泰藤 右兵衛尉 左近將監 氏泰 舍兄泰藤養子

泰長 伊勢國武茂殿考上寺

綱家

賢珍

持綱 爲滿綱子 相續家督

氏朝 義濃守

綱親 上三河綱俊養子 爲督遺跡

綱之 等綱同心 守人死去 母綱家女

貞綱 四郎左衛門三河守 法名蓮昇 母秋田城介義景女 正和五年七月廿五日卒

高綱 備前守 治部大輔一作公綱 法名理蓮 号正眼庵 南朝砥候昇殿 左少將改名通治 延文元年十月廿日卒

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15

ガラス使用

氏綱 四郎下野守伊与守
應安三年七月五日卒法名元山禅綱号南齢
菴

義綱 氏家

基綱 四郎下野前司
康應二年五月十六日於下野嘗原與小山義
政戰討死世一歳法名禅眼菴天山昌壽

滿綱 弥四郎

應永十四年十月三日於鎌倉病死世一歳法
名旭山瑞東

持綱 實武茂綱家男滿綱為嗣相續
肥前守常陸介右馬頭
應永世年八月九日於塩谷幸賀卿自害廿八
歳号静香院松山道茂

等綱 下野守
寛正元年三月一日於與別白川病死四十一
歳法名万年院日翁道景

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

明綱弥四郎兵部少輔
母小山持政女
寛正四年十一月十二日病死廿一歳法名花
光院江雪禅長

正綱等綱二男初号武茂六郎　下野守右馬頭
母同明綱
文明九年九月一日於成氏上野川曲御陣病
死世一歳法名南昌院長澗禅久

成綱下野守右馬頭
永正十三年十二月八日卒四十八歳法名溪
隠菴經岩長胤

忠綱依無實子相續于舎弟興綱　下野守右馬頭
大永七年七月十六日卒法名万年院密山長
雪

興綱成綱三男　弥四郎　母宇都宮の歳
生害廿一歳

尚綱成綱二男　弥三郎右馬頭

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号　ひ-15
ガラス使用

慈心院主還俗於喜連川討死

廣綱 弥三郎

天正八年八月七日卒世七歲法名花光院以天長清

國綱 下野守

慶長二年秀吉没取宇都宮

同十二年十二月廿二日卒法名大昌院心翁浄安

義綱 弥三郎

右宇都宮系圖以中山信名本書寫校合

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15

ガラス使用

相馬系圖

桓武天皇 仁王五十代

- 葛原親王 一品式部卿蘆葦車
  - 高棟王 正三位大學頭大納言 西洞院流元祖子孫公家也
    - 良望 常陸大掾陸奥守鎮守府將軍 改名國香 於關東為將門被討
    - 高見王 無官無位 早世
    - 高望王 上總介從五位下 寛平二年五月始賜平姓
  - 延暦五年生
  - 仁壽三年六月四日薨六十八

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15

ガラス使用

良房 常陸大掾

良將 從五位上陸奥守鎮守府將軍

良兼 下總介 將門叔父合 良定 定

良文 村岡五郎 又重門尼云

良生 常陸六郎

良繇 常陸掾 忠光 常高

良詮 上野介

良持 此子孫在九州

良廣 駿河十郎

忠通 村岡小五郎

忠頼 村岡次郎 將門為聲継跡

將常 秩父武藏守

忠常 武藏押領使 下總介

將弘 將軍太郎 亦將俊尼云於相州被誅

將門 相馬小二郎 自号平親王

將頼 御厨三郎 下野守 女子 号如藏禅尼

將平 大葦原四郎 上野守

將為 下總守

將武 伊豆守

出現 兄同被誅

良兌 信田小太郎

將國 信田小太郎

常遠 三郎

千世丸 父同被討

常光 文國小太郎

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号　ひ-15

ガラス使用

良房 常陸大掾

良将 従五位上陸奥守 鎮守府将軍

良兼 下総介 将門叔父合戦 良定 定

良文 村岡五郎 又重門尼云

良生 常陸六郎

良繇 常陸掾 忠光 常高

良詮 上野介

良持 此子孫在九州

良広 駿河十郎

将弘 将軍太郎 亦将俊尼云於相州被誅

将門 相馬小二郎 自号平親王

将頼 御厨三郎 下野守 女子 号如蔵禅尼

将平 大葦原四郎 上野守

将為 下総守

将武 伊豆守

同被誅

忠通 村岡小五郎

忠頼 村岡次郎 将門為聲継跡

忠常 武蔵押領使 下総介

将常 秩父武蔵守

忠光

国国 信田小太郎

千世丸 父同被討

常遠 三郎

文国 小太郎

陸大掾

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15

ガラス使用　挟み込み物

忠尊 山中善司 山臥十リ

常將 千葉小次郎 造平山寺

恒親 恒仲 賴任

恒遠

亂宗 武州七党ノ内 野與黨祖

元宗

常秀 千葉太夫下總權介 從五位下法名觀宥

基永 野與六郎

朝義 仁景遠子景光兄

貞元 子孫在 九州

常永 千葉四郎太夫法名覺永又永元ト云 武州押領使 源義家朝臣為烏帽子子

恒直 垣生二郎

常房 鴨根三郎 又号千田

常時 相馬小二郎

元宗 周防八郎

近永 野與庄司

恒永 陸奥國合戰討死

恒宗 大藏次郎

常金 原四郎

常益 粟飯原

常能 金原庄司

亂隆 武射七郎

亂光 椎名八郎

常尊 相馬六郎

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15

ガラス使用

常範 佐賀二郎
常宗 亞演祖
常國 二郎
常定 衣山弥平二郎
常英 二郎左衛門
常秀 弥平二郎
常勝 多谷八郎
常行 右京進
常家 出
常直 近江守
常信
常景
常定 佐賀民部少
忠家
勝家
勝重
賴望 小太郎
常望 相馬小次郎
將長
長望
兼賴 小次郎
重國 小次郎
胤國 二郎
師國 相馬二郎
師常 相馬小次郎
實十葉介常胤二男
相馬為家督相續

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

常胤 上総介
常綱 匝瑳八郎
常廣 這見八郎
常安 印井六郎
常重 下総介 法名善寂号照浄
常衡 海上與一
常継 海上
常胤 千葉介 正六位上母常陸國住平政幹女 建仁元年三月廿四日死八十四法名真見号浄春
胤正 千葉新介 法名観宿母秩父重弘女 建仁二年七月七日死六十歳
胤光 椎名五郎
師常 相馬小二郎 念佛行者也 元久元年九月十五日死去 六十七合手念佛如眠無病大往生
常家 矢木六郎
義胤 五郎
常秀 上総前司
胤綱 一本 胤岡 小次郎
常家 矢木弐郎大輔
常時 上総介
政胤 飫高四郎
常忠 印井太郎
常幹
常満
常浦 海上

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

- 胤盛 武石三郎
- 胤信 大須賀四郎
- 胤通 國分五郎
- 胤頼 東六郎太夫 従五位下
  - 日胤 園城寺律静坊 治承四年 光明山合戦 高倉宮御供 討死
  - 胤氏 次イ 四郎左衛門尉
    - 師胤 イ無 五郎左衛門尉
      - 行常 戸張八郎
      - 胤継 綱 母義胤胤継之間有出入 相馬小二郎
      - 胤経 経 五郎イ 左衛門尉 亦胤経 兄
      - 胤村 相馬五郎 孫五郎イ 左衛門尉 永仁二年逝去
    - 胤基 次郎兵衛尉
    - 胤重 四郎左衛門尉 財手也
    - 胤顕 彦三郎
    - 胤重 四郎
    - 有胤 五郎
      - 師胤 彦二郎
        - 重胤 弥五郎 孫五郎 イ親胤弟 建武二年國司合戦時 属斯波二郎於法華堂忠死
          - 光胤 弥二郎
            - 親胤 出羽守
              - 胤頼 治部少輔 松露九 讃岐守
        - 胤朝 八郎
        - 胤實 十郎

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

- 胤通 余一
  - 胤門 彦五郎
  - 女子 鶴夜叉 治胤母
  - 行胤 弥二郎
  - 朝胤 次郎兵衛
- 胤忠 次郎左衛門尉
  - 忠重 左衛門尉 勢矢也 (一胤長弟)
    - 胤長 小二郎
    - 胤宗 小次郎
- 胤義 儀イ 左衛門尉
  - 胤高 左近大夫
    - 胤實 弾正忠
- 胤興 三郎イ 三田弾正 常陸介 家紋巴ノ用
  - 胤勝 三田弾正 武州三田庄將門宮建立
    - 胤定 三田弾正
- 興秀 師冝二郎 住于武州師岡
- 胤德 下總守
  - 胤廣 修理亮
    - 胤貞
- 胤晴 小二郎 左近大夫
  - 整胤 小二郎 為家臣生害
    - 治胤 左近大夫 天正比
  - 胤信 信濃守 長山庄司
- 憲胤 治部少輔
  - 胤弘 讃岐守
    - 重弘 長門守
- 高胤 出羽守
  - 盛胤 大膳大夫
    - 顯胤 讃岐守

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15

ガラス使用

盛胤 弾正

義胤 長門守

利胤 大膳太夫

義胤

相馬系圖

人王五十代

桓武天皇 柏原共号ヲ

葛原親王第五王子一品式部卿

高見親王 無官無位

高望親王

始テ平姓給也上總守ニ成以後王氏ヲ出テ人臣ニ列也高望之御子鎮守府將軍良望朝臣後ニ八常陸大掾國香ト改名ニテ國香ヨ

り忠盛マテ七代也

良將 從四位下上總介
兄弟二人子有

將門 平親王 相馬小次郎十二人之實子有

將門ハ高望親王之御孫也常陸大掾國香ニ
ハ甥也伯父之國香ヲ殺シテ下總國相馬郡
ニ新京ヲ立百官ヲ居テ平新王ト名乘給也
依之承平年中ニ平將軍貞盛良文勅命ヲ奉
關東ニ下向シ誅之トイヘ𪜈其身鉄成故誅
戔不叶然藤原朝臣俵藤太秀鄕廻謀伐之ト
イヘトモ東國西國子孫殘多之

將國 相馬小次郎 文國 相馬小太郎 常別信太住 賴望 小太郎

常望 小太郎 將長 小太郎 長望 小太郎

重國 信太小次郎 此代ヨリ相馬ト云 胤國 相馬小二郎 師國 相馬中務太夫

師常 相馬小次郎 義胤 小太郎 胤繼 相馬小次郎

嵐經 左兵衛尉
法名茂林

嵐宗 左衛門尉

嵐高 上野介
号幸山

嵐廣 因幡守
号天桂

整嵐 同小二郎
号實山

秀嵐 小次郎
号春山

嵐忠 上野介
二人子有

資嵐 上野介
号月桂

嵐實 左衛門尉
号正安

嵐貞 相馬小次郎
号花桂

嵐晴 同小二郎
法名号玉宗

嵐長 左衛門尉

嵐義 左衛門尉
号在杯
桂イ

治嵐 左近太夫
号丁山

権現様ヨリ御知行五千石被下候

家紋繋馬也

右總別相馬系圖以一本校合

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15

ガラス使用

奥州相馬系圖

高望王 上總介始賜平姓

良將 鎮守府將軍 將門 相馬小次郎 自号平親王

良文 村岡五郎從五位上

忠頼 陸奥介村岡次郎良文子繼將門跡

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15

ガラス使用

忠常 前上總介千葉元祖

常將 小次郎千葉介從五位下

常兼 千葉大夫下總介元永以後補當庄撿非違使

常重 千葉介從五位下撿非違使同又

常胤

千葉介母平政幹女源賴朝時數有軍功補下總國守護職治承四年九月於相摸國府自賴朝始賜勳功之賞元暦元年追討平家之時率郎從扈大手之大將蒲冠者範賴而發向尋赴西海之時再屬範賴而發向賴朝征伐秦衡之後於奥州賜勳功之賞建久元年十月賴朝上洛之時供奉正安三年三月廿四日死年八十四

師常

相馬次郎或号千葉次郎母秩父大夫重弘女

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

領奥州行方郡下總國相馬郡行方郡為勲
朝追討平家之時属範頼而両度發向其後頼
朝両度上洛之時供奉元久二年十一月十五
日死年六十七

義胤

相馬五郎領両郡與又同勤仕源實朝

胤綱

次郎左衛門尉所領同又嘉禎四年将軍頼經
上洛之時供奉

胤村

五郎左衛門尉所領同上仕将軍頼嗣及宗尊
親王正嘉二年若宮參禮勤流鏑馬之役

師胤

小字松若丸彦次郎左衛門尉所領同前
文永九年正月廿九日可知行両郡之由有御
教書相摸守平朝臣時宗左京権大夫平朝臣

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号　ひ-15
ガラス使用

政村執行之

軍亂

孫五郎或号小高孫五郎所領同上自是以下
住行方郡元弘三年七月十七日行方郡本領
安堵無相違之由有宣旨同三年七月廿六日
高時法師黨類之外奥州當知行之輩不可有
相違之由依大納言藤原朝臣宣房宣有辨官
之下文建武二年六月三日奥州内伊具亘理
宇大行方金原保郡等補檢斷職之由有國宣
同年志和 斯波 尾張彌三郎為誅伐國司顯家
卿發向奥州之時於亘理河名驛參會以來屬
馬數致戰功同三年奥州高城保郡可所務之
東數致戰忠同年奥州内高城保郡可所務之
旨將軍足利尊氏被仰計之由有判形同年中
前代蜂起之時殊致軍功同比國司顯家卿下
向之時爲軍將陸奥守家長隊下於鎌倉合戦
時於法華堂下自殺因擧名譽云云若各有證
文道号天埋。

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号　ひ-15
ガラス使用

孫次郎出羽權守前國司之時補奥別海道四
郡守護建武二年於箱根坂水呑合戰之時致
戰功吉良右京大夫貞家無偽之旨差副起請
文送仁木兵部大輔同年千田大隅守相共向
千葉城合戰時將軍尊氏俄因上洛供奉於京
都數致軍忠同三年十一月廿二日相馬郡一
族所領之跡五箇村自將軍尊氏可賜之旨有
判形同四年二月廿一日爲軍將石堂藏人隊
下進發於常州關之城時渡絹河上瀨追散中
沼渡戸之敵數百騎燒拂數百家致先鋒之功
時侍大將梶原三郎左衛門尉檢知之貞和三
年爲追伐伊達郡藤田靈山田村宇津峯城函
徒等率一族馳向而致軍功之由右京大夫貞
家差副起請文送仁木兵部大輔正平六年可
抽軍功於宮方之旨仍納言奉勅執行之同七
年就吉野御合体含野心之輩出來者可退治
之由自將軍尊氏被号令爲此時顯信卿於奥
方欲退治將軍與黨而處々相戰急馳向名取
川而可抽軍忠之旨右京大夫催促之同年三

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

月顯信卿以下凶徒楯籠田村宇津峯城之間
可討捕之旨數有御教書云云觀應二年十月
廿六日補與州海道守護職同十一月廿六日
行方内千藏庄為勲功之賞領知之同年宇津
宮伊達飛驒前司一族以下襲來府
中之間十月廿二日馳向柴田郡倉木河而致
戰功一族郎從被創及討死親胤又被創同十
一月廿二日於名取川廣瀬川致軍功之由右
京大夫貞家差副起請文送仁木兵部大輔同
十二月七日以行方内吉名村為勲功之賞領
知之同三年七月五日宮内國司及顯信卿聞可
沒落奥羽間之由若有搦之者忠賞可任所望
之旨有可號令之狀同四年六月十一日可參
宮方旨大納言奉勅執行之貞治三年九月十
一日羽州下大山庄内漆山門田飯澤等領知
之右各有證文法名聖心道歸月洞

光胤

弥次郎重胤次男又重胤
鎌倉建武三年三月十日斯波及重胤送書於

行方曰成敵之輩悉可追伐且於小高村宜構
城壘云々故攻處々敵館而退治凶徒且築小
高城同二十二日廣橋修理亮經泰將數千騎
而襲來小高城因與此防戰同二十四日敵退
散同廿七日於標葉郡合戰時敵多討捕焉侍
所大氐平九郎檢知之同三月十六日白川上
野入道一族楯籠宇太庄熊野堂時光胤屬與
州海道軍將武部太輔兼賴隊下而進攻之敵
遂敗散同二十二日四日七日數合戰同五月
六日合戰致軍忠敵多討捕焉同七日合戰有
功同二十四日國司顯家卿率數萬騎來攻小
高城因與此防戰光胤及相馬六郎長胤同七
郎胤治同四郎成胤同十郎胤俊此外家人等
討死云云時兼賴弱年也氏家十郎道誠代之
而差副起請文獻鎌倉以上合戰中一族郎等
或討死或被創或討敵得首級各有詮文

胤賴

治部少輔讃岐守小字松鶴所領同前自是以
下住小高城建武三年五月廿五日祖父相傳

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号　ひ-15
ガラス使用

下總國相馬郡安堵御教書自伯父弥次郎光胤而得之祖父重胤者鎌倉合戰之時自殺父親胤者屬將軍在洛伯父光胤討死跡時胤賴時号紅稚也小高城没落之後一族郎從失度松鶴至明年正月凡八箇月之間避難隱居山林於是中村六郎者代結城上野入道而集數萬兵楯籠宇多庄熊野堂此時軍將式部大輔再進發奥州胤賴悦之率一族郎從同二十六日攻凶徒於是凶徒敗没此外處々合戰致軍忠一族郎從或討死或被創之由兼賴之名代氏家平郎道誠差副起請文獻鎌倉且馳向熊野堂有致忠節之感狀建武四年正月廿七日判形在焉觀應二年十一月廿六日以行方内千藏庄為勲功之賞領知焉同三年奥州田村庄凶徒誅伐之時於安積郡部谷田佐々川田村矢柄宇津峯等抽戰忠之由右京大夫貞家差副起請文送仁木兵部大輔文和三年六月一日竹城保鄉如元領知之延文三年十一月廿日依父之譲狀領行方郡康安元年任讃岐守同二年十月廿一日補奥州海道檢斷職負治二

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

年七月十一日領宮城郡國分寺鄉國分淡路守并一族跡也同六年正月廿六日以名取郡内坪沼鄉為勳功之賞領知之應安五年領高城保内赤沼鄉同六年九月十八日領高城保内長田鄉至德三年七月十二日領長世保内大迫鄉同十二月二日領名取郡南方增田鄉下村大内新左衛門跡也右各有證文道号太成

憲胤

小字千代王治部少輔領両郡并宇太負治六年八月廿三日依父之譲狀領地岩

胤弘

孫次郎讃岐守所領同上應永二年依父之譲狀領地如元道号道空

重胤

治部少輔領行方宇太道号天石

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

高胤

出羽守所領同上通号太雄

盛胤

大膳大夫所領同上與平清隆數合戦遂取標葉郡道歸日頭

顯胤

讃岐守領行方宇多標葉與岩城重隆數合戦攻取楢葉郡内冨岡城木戸城廣野濱之城且追重隆到岩城城下鎌田河其後與重隆和睦而還所取之城伊達領掛田城三年宿陣之時重隆與伊達晴宗相謀攻城於是出陣於平澤合戦敵遂敗北其後晴宗雖數襲而堅守之歳四十二而死道歸雄山

盛胤

彈正大弼所領同上於伊達領座流河與晴宗合戦討捕敵數多也其後與輝宗合戦攻取古佐井城尤森城子義胤時八歳父子相共出陣田

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

高胤

出羽守所領同上遣号太雄

盛胤

大膳大夫所領同上與平清隆數合戦遂取標葉郡道歸日頭

顯胤

讃岐守領行方宇多標葉與岩城重隆數合戦攻取楯葉郡内冨岡城廣野濱之城且追重隆到岩城城下講和睦其後與重隆和睦而還所取之城伊達領掛田城三年宿陣之時重隆與伊達晴宗相謀攻城於是出陣於平澤合戦敵遂敗北其後晴宗雖數襲而堅守之歳四十二而死道歸雄山

盛胤

弾正大弼所領同上於伊達領座流河與晴宗合戦討捕敵數多也其後與輝宗合戦攻取古佐井城尤森城子義胤時十八歳父子相共出陣田

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用　挟み込み物

村清顯依請和親歸所取之城此外與輝宗合
戰數矣慶長六年十月十六日於中村死歲七
十三法名一通道号篝山

義胤

長門守所領同上天正四年七月七日於伊達
領古佐井之内矢之目妙賀山與輝宗合戰互
勵軍功此時輝宗入君沼瀬上角田小泉村田
石母田澤田沼邊等主及大町栗野鴇田黒澤
成田大枝小原茂庭本内松岡柴田真柳湯之
村赤澤此外騎兵雜兵千餘人擊取焉同比與
輝宗及正宗戰于同領長者崎雜兵互擊死此
時取芝二三箇所（時盛胤赤出陣）同領館山而得勝利同比與輝宗正宗戰于
同領金山而得勝利同比與輝宗正宗戰于同
領小深田軍士互擊死取芝一両所（時盛胤赤出陣）同
比戰于同領新地追敵傳新地城下同比戰于
同領石佛駒岑時無勝負同比部從等與輝宗
戰于同領蛭邊宿我兵敗北同比於奥州塩松
郡大場與正宗部從合戰時敵敗北同比於同

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

國田村郡上宇津志下宇津志常盤與正宗合
戰互無勝敗同比於十二所伊達相馬之境不意會戰
之時相馬兵部大輔隆胤盛胤三男計死此外與正
宗數戰天正十八年秀吉進發關東之時執謁
于相州小田原其後依秀吉命在京之時於江
州内賜五百石秀吉薨去之時賜太刀一腰以
為遺物慶長五年大權現及台德院殿征伐石
田三成之時供奉依致延引被改易本領同年
於武州江戶義胤及利胤相共被召出而安堵
於本領寛永三年十月三日叙從五位下同九
年為台德院殿御遺物拜受銀子五百枚同十
二年十一月十六日於中村死歲八十八道號
外天

利胤

孫次郎大膳亮所領同上慶長元年謁關白秀
吉于伏見城同比叙從五位下同十六年奉言
上大權現及台德院殿同年十二月二日移居
宇太庄中村城同十九年大坂陣供奉台德院
殿明年御陣義胤及利胤相共供奉元和三年

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

同五年同九年台德院殿御上洛之時供奉寛
永二年九月十日於中村死歳四十五道號日
黎

義胤

虎之助大膳亮所領同上又没之時僅七歳遺
跡無相違賜之寛永六年五月廿八日始奉謁
台德院殿及將軍家時家老三人被召出爲同
十三年十二月廿九日叙從五位下
幕紋麥馬　家紋九曜星

相馬略譜

坂東八平氏之内下總平氏千葉六黨是也一國不
殘此一族知行ス所謂千葉八嫡流ニテ居住千葉莊其後
元天治年中總州押領使ト成其子孫代々相續就
中經胤賴朝公有大忠依之一國之為守護職子孫
繁昌六黨是也千葉八嫡流ニテ居住千葉莊其後
官方ト尊氏ト合戰之時總領宗胤八宮方ニテ討
死此子孫九州宮仕類葉于今在肥前其時宗胤一
門負胤八尊氏ヘ降參居住千葉其後遁ニ過テ寶
德ノ比鎌倉之成氏ト上椙合戰ノ時千葉ノ自胤

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号　ひ-15
ガラス使用

八上枚方馬加孝胤ハ成氏方ニテ千葉ノ家ニツ
ニワカレ合戦數年也自胤方ハ武州へ移リ孝胤
カ末代々千葉ニ繁昌シテ至天正年中郡胤ノ時
滅亡ス

一相馬ハ両流アリ根元ハ平真王將門ハ州ヲ并呑
シテ總州相馬郡ニ都ヲ立伯父常陸大掾國香ヲ
討兼平年中為追討使被討兄弟子孫或被誅或討
死若輩ハ配流也將門ノ孫文國ノ時被免自配歸
歸常州ニ移住其後一族ヲ憑總州相馬ニ歸子孫
三四代ニテ断相馬小次郎師國無男子而千葉介
常胤二男師經ヲ養子トシテ譲名字ノ地師常ノ
子孫數多アリ元弘建武ノ比尊氏ト官方合戦ノ
時相馬モ両家ニワカレ一方ハ千葉ノ方ハ千葉ノ宗胤ニ一
味シテ相馬ニ残官方ノ相馬是也一方ハ斯波陸
奥守ニ一味シテ鎌倉合戦ニ討死依其忠賞奥州
行方莊ヲ賜リ將軍方ニテ代々在城ス依之行方
ヲ改名シテ號相馬城奥州相馬是也總州常州ノ
平氏等悉滅断シテ相馬両家ノ名字而已猶存珍
重

右之一巻ハ元和八年ノ秋大久保加州大守ノ

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号　ひ-15
ガラス使用

御内相馬長四郎仕所望總領小次郎殿以御家
傳書寫之與長四郎畢
總州相馬内荒木村住人
相馬藏人佐則胤法名栢室道固
七十歲書焉

佐竹系圖

貞純親王 仁王五十六代清和第六御子

經基 六孫王 初而賜源氏姓 上野大守美濃守正五位下

滿仲 多田從四位上左馬頭

賴光 攝津守

賴親 大和守

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

法眼源賢

賴信 從四位上六介國吏也河内守

賴義 從四位下左馬頭相摸守伊豫守

義家 八幡太郎陸奥守鎮守府將軍

義綱 賀茂次郎

義光 新羅三郎從五位下刑部丞左兵衛尉

義業 進士判官

昌義 佐竹冠者下野守常陸國住法名蕃若道号蓮真

弟四子

隆義 太田四郎常陸介法名蓮真道号隆義

秀義 佐竹別當從五位下常陸介法名蓮實道号秀山 行年七十二 嘉祿元乙酉年十二月十八日逝去

義繁 從五位下常陸介右兵衛尉法名蓮義道号勝 行年七十七 建長四壬子年二月二十五日

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15

ガラス使用

長義 常陸次郎法名道義道号大山行年六十六丈
永九壬申年七月二十六日逝去

義胤 常陸掃次郎法名覺義道号道山行年五十二
正應二己丑年四月二十二日逝去

行義 常陸袞次郎法名行義道号正山行年四十三
德治二丙午年七月十二日逝去

貞義 次郎遠江守上總介法名道源道号崑山行年
六十八文和元壬辰年七月十七日逝去

義厚 右馬權頭法名淨喜道号春山行年五十二康
安二年正月十一日逝去

義信 左近大夫將監左馬頭法名聖義道号海浦行
年四十四康應元年七月十四日逝去

義盛 左馬頭法名常盛道号大淳行年四十三應永
十四年九月廿一日逝去

義人 右衛門佐右京大夫法名本光道号竹道行年
六十八應仁元丁亥年十二月二十四日逝去

義俊 伊豫守道号曜岳法名健昭文明九年十一月
廿四日逝去行年五十八

義治 左衛門佐道号一峯法名道錦延德二年四月
廿五日逝去行年四十八

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

義舜 右京大夫 法名道浦 道号還慶 永正十四年三月十三日逝去 行年四十八

義篤 大膳大夫 法名月光 道号溪心 天文十四年四月九日卒 行年三十九

義昭 右京大夫 常安源心 永禄八年乙丑霜月三日逝去

義重 常陸介 法名閑信 道号通庵 行年六十六 慶長十七壬子年四月十九日逝去

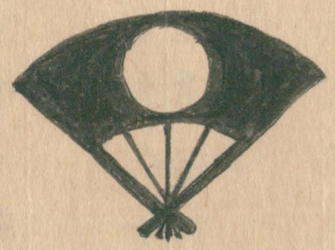
義宣 右京大夫 天正十八年十二月廿三日任従四位下侍従 寛永三年八月十九日任従四位上左近衛権少将 寛永十年正月廿五日逝去 法名天英道号紫堂 行年六十四

家老中務義久 天正十九年正月二日任従五位下中務大輔

義隆 修理大夫 義重三男 岩城忠次郎貞隆之嫡男 寛永三年八月十九日任従四位下侍従

義處 右京大夫

家紋



隆義迄八白旗也 秀義之時從頼朝始而賜此紋也

右佐竹系圖以一本校合。

佐竹系圖

義光 於園城寺新羅大明神社壇加首服号新羅三郎常陸介刑部丞右馬允五兵衛尉甲斐守五位下刑部少輔弓馬達者名将也

義業 刑部太郎從五位昇殿相模介進士判官五衛門尉 母甲斐守知實女

昌義 相模三郎佐竹冠者信濃守常陸住 母吉田太郎平清幹女

忠義 佐竹四郎 治萇四年十月一日於常州見誅

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

義弘 佐竹藏人 遁世

隆義 佐竹四郎常陸介 母奥州藤清衡女

義季 佐竹五郎藏人

義宗 佐竹次郎

親義 信州住岡田冠者
壽永二年五月北國ニ於テ
守平知度朝臣討死

昌成 佐竹冠者

義政 太郎 依賴朝命為上總介廣常於大矢橋兒
討

秀義 別當 母戸村小三郎藤原能通女
法号秀山蓮義壽永元年十二月十八日七十
五年
文治五年七月廿一日賴朝秦衡追伐之時始テ
宇都宮小田橋ニ於テ賴朝ノ旗ニ見エ秀義ノ旗
朝ノ八タニ同ヒキニヨリ九
八タニ結付テ代々ノ家紋ト
地頭職始テ拜領ス

義茂 佐竹六郎 号南酒出
仲根白鳥

季義 佐竹八郎 北酒出

義清 稲木

田谷 國井 森戸 小綿

隆義 佐竹四郎常陸介 母奥州藤清衡女

義季 佐竹五郎藏人

義宗 佐竹次郎

親義 信州住岡田冠者
壽永二年五月北國ニ於テ
守平知度朝臣討死

昌成 佐竹冠者

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

義重　別當從五位下常陸介
建長四年二月廿五日卒
秀繁　左衛門尉、兼父ノ乱宇治ニ戰死

長義　次郎　母辛忠遠女
大山道義文永九年七月廿六日六十七卒

義直　額田弥次郎童名伊豆王丸

義隆　岡田四郎

重綱　岡部五郎

重氏

義胤　孫次郎常陸介　奥州岩崎也氏女娶ル
覺義道山正應二年四月廿日五十二卒

行義　彦次郎左衛門尉別當
行義大居士德治元年七月十五日四十三卒　母岩崎女

義信　箱木小次郎

義綱　小川三郎

義照　豊間

景義 高部五郎

手繩

貞義 次郎左衛門尉 別當遠江權守上総介入道々
元 母二階堂賴綱女
興禪寺造立高左ニアリ文和元年九月十日六
十六卒

義綱 長倉三郎

義高 大内與次郎

越後國中條六郎貞宗養子

景義 馬淵四郎

烏子山別當

義篤 小太郎 刑部太輔 左馬權頭 左兵衛督 母油
上六郎 左衛門尉 平亂 泰女
清音寺殿 春山淨喜 康安二年正月十一日五
十二卒

月山 師從夢窓學禪 增井正宗寺開基
嫡子也

義春 小瀨三郎

四郎 早世

義直 五郎 建武二年七月廿四日武州鶴見ニテ
打死

義冬 六郎 建武三年二月六日久慈西楠乱打死

師義 七郎 刑部大輔
山入元祖法名信中國安住
築紫多々良濱御陣ヘ高氏
御勢二百騎計佐竹刑部大
正通其外十餘人菊池御敵大将ニテ打向其外
築紫大名同心ニテ向雖然菊池打トうし三
千餘騎悉散々ニ打則高氏将軍大軍ニ十り
築紫思召コトク打平歸洛ト云

義宣 始義香 左馬介 右馬頭 左近大夫将監伊与守
母小田左衛門尉知貞女
法号海浦聖義 四十四鎌倉ニ卒多福寺建立

義躬 小場大炊介 濱名膳

宗義 石塚次郎掃部助

義孝 大山左京介 幼名福丸

義實 藤井又次郎松王丸

義有 栗野刑部大輔

義盛 右馬権頭 母河越女
大淳常盛應永十四年九月廿一日於鎌倉卒
四十二歳

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号　ひ-15
ガラス使用

女子 義憲室 法号天徳寺 甚山妙幸 鎌倉ニ卒ス
十八歳

義憲 龍保丸 上杉七郎佐竹右京大夫初義人
實上杉憲定男 應永十五年當國下著十七歳
時義人ト改 此代山入與合 南郷保内白川へ
取ラル 法号竹道 應仁元年十二月廿四日六
十八卒

義俊 伊与守 法号曜岳文明九年十一月廿四日五十三卒

義倭 戸村八郎 常陸介 南ト号

實定 上杉右馬頭 右京大夫 上杉ニ養子違反

常徳院

義森 小野左衛門佐

義治 左衛門大夫 右馬頭 母小山大膳大夫女花
渓妙榮 室大山因幡守妹 常金ノ女 富春妙昌
一峯道錦 延徳二年四月四日四十八歳

義賀 天神林三郎 大山腹

義易 戸村八郎 小山腹

天鳳存虎 平元腹

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

義舜 右京大夫 從四位少將 文明二生 室岩城
常隆女 号河山 法号喜山妙悦
還慶道補永正十四年三月十三日四十八歳

義武 久来三郎 生害

義信 北左衛門 義武ノ名跡ヲ十九

政義 東左近將監

竹窓 増井住 別腹也

義篤 右馬権頭 從四位下大膳大夫 室小田政治
女 心傳妙安
月光 渓女

義元 部屋四郎

女子二人 岩塚江戸ヘ嫁

義隣 南三郎

永義 今宮別當

上渓齊 右内 別腹

義昭 次郎 右京大夫 室岩城重隆女 法号宮山性芳
法号常安源真永禄八年十一月三日二十五
歳

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号　ひ-15
ガラス使用

宥堅 社務 早世

天敬周崇 紫野ニ登西年叁學 永禄五年四月六日迁化

義昌 乙壽丸三郎義通府中ニ養シテ大椽昌幹ト云 後ニ改メ義昌ト云 後山能ノ継 小野崎義昌ト云

義重 常陸介 室伊達左京大夫晴宗女保壽院殿 廣山宇陽法号闗真通庵慶長十七年四月十九日於伏田卒六十六

義尚 南五郎 義隣ノ継

義宗 小場三郎

資家 那須ノ継

女子二人 宇都宮廣綱室 岩城親隆室

義宣 次郎從四位下少將左近衛中將兼右京大夫法号天英傑堂寛永十年正月廿五日卒六十四 室多賀谷女法号大壽院殿惠林昌智 後室那須資治女法号正洞院殿明室

盛重 初義廣 會津苧名盛隆ノ継

貞隆 岩城忠次郎幼名能化丸 天正十八年七月八歳ノ時養ス 岩城親隆ノ継

国立国会図書館 タイトル『宇都宮系図』 請求記号 ひ-15

ガラス使用

宣家 下妻 太郎多賀谷左兵衛 多賀谷修理亮
カ継

女子 藤原宰相室

義隆 修理大夫従四位侍従 實岩城忠次郎貞隆
ノ長子也

義處

義昭御代宇都宮尚綱那須高資ト取合喜連川ニ
於テ打死子伊勢千代殿真岡へ落玉フコト五歳
ノ年也芳賀左衛門九年技助仕也然間芳賀江戸
但馬守ヲタノミ當方へ御合力悃望申サルくも
義昭ヲカノ御遠慮也ニヤ此君御同前タノマレ申
被成御悃望也亦氏康モ若君御書
廿九也上意ト云又氏康入魂ト云余儀ナクソホ
ニメレ弘治三年丁巳十月廿五日甲辰
廿六日歸城被成也伊勢千代方十三ノ年也亦義
昭廿八歳也末代ノタメ如此書置也
義昭ノ御代永祿四年庚申南郷悉被取歸寺山七

月ヨリ十月マテ百十日結陣十リ義昭南郷寺山
結陣ノ内庚申ノ年越後ノ輝虎關東越山アリ沼
田那和責ントシ前橋打破ラル其外上野ノ面々
同心也翌年二月初小田原要害結陣也四方百里
ノ裏放火黒土ニ打散シ三月下旬納メラル也小
田宇都宮自身在陣也亦永禄六年亥正月輝虎越
山アリ武藏葛西ノ地打破其外成田聽鼻和田(ハニワ)入
其外五六箇所同心也三月下旬ニ小山結陣也壹
方義昭自身宇都宮其外上州武州就中太田美濃
守走廻也小山殿色々悃望アリ同心十リ直ニ佐
野押詰在陣十リ佐野色々悃望申サレ候テ證人
請取納メラルく者也末代ノタメ義昭御代御威
光不思議ノ書置十リ

此代出田野尾張入道生害セラルく竹道
當方ニ養シ走廻スルニ故也太田トリ合ノ始也

- 市義
- 師義
  - 與義 上総介
    - 祐義 刑部大輔
      - 義知 上総介
        - 義真 下総介
      - 深忠 白石ノ祖
      - 仲根
    - 松平
    - 小高

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

義勝 刑部大輔 法名大雲 ― 氏義 此代當方宰人下野ニ幸 ― 義盛

義數 駿河守

自義 小田野九郎尾張守後大入道ト云小場大炊助縁ニ入

義資 山城守九郎中務 ― 義雄 山城守九郎中務 ― 義則 小田野尾張入道息錦江依忠節四代調置也

實ハ儀田ノ嫡男

山入義盛傳云此代ニ山入斷絶也小田野尾張入道ノ息錦江明堂ト云名僧ヨリ錦江ハ壽福寺ニ住ス明堂ハ天德寺ニ住スヌ又錦江ハ鎌倉建長寺塔中雲須庵ニ住住ス左衛門錦江走廻ニ依テ上杉七郎殿當方へ養ス當方ニテハ小野崎江戸山入ニテハ尾張入道三人談合ヲ以テ長尾三人武上一揆中前橋中ノ頭ニ書申越ニ小畑蓑輪前橋彼三人相賴シ上杉七郎殿ニ申越也亦小畑ハ西一揆頭也蓑輪ハ北一揆頭也長尾孫四郎根本捧ル也然間小田野尾張入道錦江此忠節ニ依テ向後ノタメ小田野名字御免圖ノ内ニ四代書置也

後徹義知尾張入道生害セラルヽ也

右佐竹系圖以中山信名本書寫校合其原本秋田侯家臣戸村十大夫義國所書云

佐竹支族系圖

小場

義躬 大炊介 義宣庶兄也
明海法光 霜月六日卒 義篤男

惟義 号宗翁道超
四月一日卒 義信 号嘉吉三河守 号雲拳道慶
嘉吉二年壬十月六日卒年三十九

義實 三河守 号心源道安 義忠 大炊助 号春岩常椿
明應三甲寅 文龜三年正月二日卒年五十四
舍弟前小屋村岩自是分

義積 三郎 号善林常積
丙戌年生 明應二年四月三日卒

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号　ひ-15
ガラス使用

義實 式部大輔 号蘭溪常秀 又号高岩秀公
於部岳生害 天文九年三月十四日也

義忠 三河守 長雄常久 義宗 三郎

石塚

宗義 義篤三男 某 土佐守

義永 義親 越後守 号花翁常富 某 越後守
東野六郎義永自是分

義胤 大膳亮 於宇都宮 義衡 淫田閑時於關山討死
土塔原討死 改名義親

義慶

大山 山

義孝 義篤之四男 法名 照岩
号常照寺殿

兄 法名 石山

義成

某孫次郎

高岩 住万願寺小屋 常金

義在

法名 常義

某孫次郎

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号　ひ-15
ガラス使用

小瀬

- 貞義
  - 義春 常陸介 義篤舎弟
    - 義益 宮内大輔
  - 義長 源四郎 伊義
    - 義賀 スミ
  - 義基 シウツモ三ヲ 討死 義種
    - 義繁
  - 義貞 宮内大夫 義春 中務大夫 攝津守
    - 義行 民部大夫 越中守

長倉

- 行義
  - 義高 大内奥次郎 弟
  - 義綱 三郎 兄 号自源常高
    - 江浦常浦 名棄不知
  - 讃堂常金
    - 海集常勝
      - 梅集常桂
  - 長川常祐
    - 竜翁常幢
      - 香林常桂
  - 夫翁常橋
    - 義尚 遠江守 号竜岩常乾
      - 桂岩常香 於野口生宮

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号　ひ-15

ガラス使用

義重 号天岩常清 義當遠江守 号簫岩道弓

義興 法名松岩紹長 慶長五年九增井在寺頼死

大澤六郎義尚 義重舎弟 於關山討死 義泰 弾正左衛門

長倉義綱 舎弟分

大内與次郎義高

手繩 竜孤山之手繩在名也大繩自是分也

中條六郎貞宗

馬淵小三郎景義 任但馬守後号野口殿又 称高久

高久

景義 号馬淵 法名常林 義有 式部大夫 義本

義景 右馬助 時義 但馬守 義行

義賢 下総守

義有 但馬守

義重

義兵 孫三郎

宮壽丸 父子同宮田陣歸陣時於關山討死

義時 下総守

額田分

義重

義直 額田三郎 長義弟

義基 五郎

實義 五郎次郎

泰義 常陸介

山之入分

負義

師義 梶部助刑部大夫

言義

弟 與義

兄 義卿

弟 祐義

兄 義知 上総介 於久米討死

弟 義真 上総介

義藤 刑部大輔

氏義 左京大夫

義盛 茂木覚性院 一衆院 絶

戸村

竹道

義倭（カス） 常陸介

義易

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号　ひ-15

ガラス使用

義廣 ― 義和 ― 義廣

天神林

義俊 ― 義成 三郎 ― 義益 上総介

某 三郎 討死

小野岡内

義人 ― 義盛 右衛門佐 ― 義高 右衛門佐

義雅 右衛門大夫 ― 義繼 彦次郎 法名賀岑慶公

宇留野

義夢 ― 西掃 ― 四郎 依上ノ妻倉ニテ打死

義元 四郎 為猶子 義舜男 ― 竹壽丸 父子天文九年三月十四日生害

義俊 ― 天鳳存虎 西掃庶兄也

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15

ガラス使用

義長 源兵衛尉

嫡子 家督 源五郎

二男 右馬助

三男 家督 小田三ヶ討死 右近

四男 大山田大學

五男 家督 源十郎 源太郎 源十郎息

北東分

義治

周義藏主 義舜庶兄 号竹宗 晨初周瞳和尚 晩ロ

三郎 於久米生害 義氏

三郎 於久米生害 義武

北

義信 左衛門

義信 又次郎 於部垂討死

義廉 又七郎 左衛門大夫 某 又七郎

東

政義 左近大夫將監

義賢 賢改堅 酒出二十九 義堅男 義喬 九郎

義長 源兵衛尉

嫡子 家督 源五郎

二男 右馬助

三男 家督 右近 小田三テ討死

四男 大山田大學

五男 源十郎 家督 源太郎 源十郎息

北東分

義治

周義藏主 義舜庶兄 号竹宗 晨初周瞳和尚 晩カ口

三郎 義氏 於久米生害

三郎 義武 於久米生害

北

義信 左衛門

義信 又次郎 於部垂討死

義廉 又七郎 左衛門大夫 某 又七郎

東

政義 左近大夫將監

義賢 賢改堅 義堅男 酒出二十九 義喬 九郎

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15

ガラス使用　挟み込み物

ひ
15

其源六郎
實弟也

義孝 ヨリ分分

今宮永義 ― 大納言

義元 宇留野名代持

義里 初作義隣
南次郎左衛門 ― 義尚 五郎 義昭二男
改名資綱

古内一溪齋

右佐竹支族系圖常陸國正宗寺所藏也以中山信名本校之

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15
ガラス使用

15

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』 請求記号 ひ-15

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇都宮系図』　請求記号 ひ-15

ガラス使用